

PRO MARINE

ヴァンレイド 取扱説明書

このたびは、ヴァンレイドをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
リールを正しくお使いいただくためにも、ご使用になる前にこの説明書をよくお読み
ください。また、この説明書も大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

品名	ヴァンレイド
品番	VR50
ギア比	6.3:1
標準糸巻量	PE 3号/約400m 4号/約300m
最大ドラグ力	15kg
ボールベアリング	1WAY×2+9

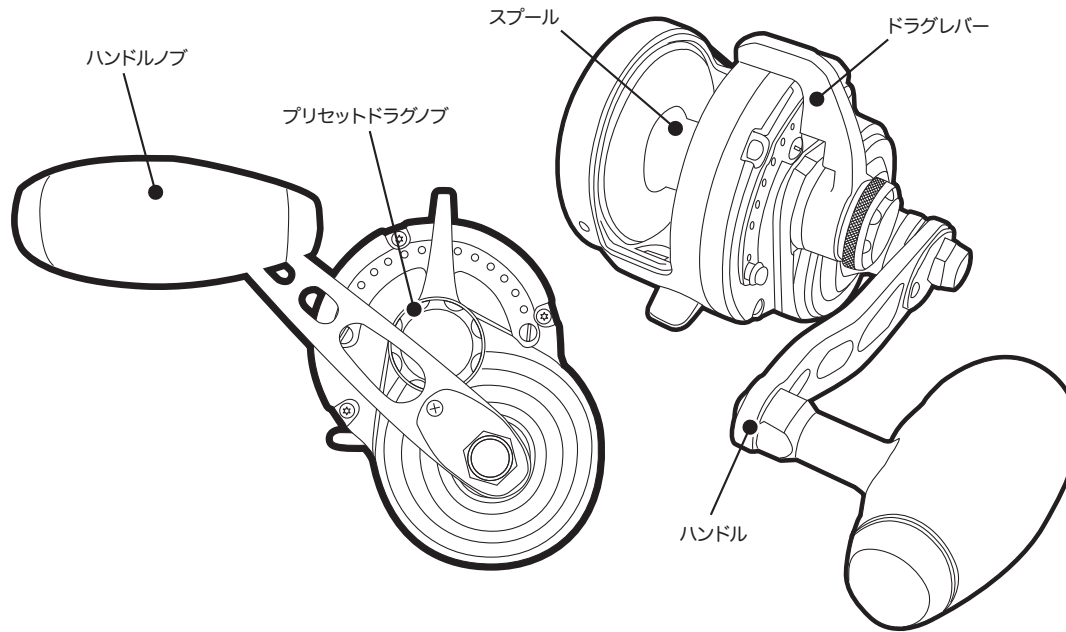
安全上のご注意

- 幼児の手の届くところには置かないでください。予期せぬ事故やケガの原因となるおそれがあります。
- キャスティングの際には、クラッチを切るのを忘れないでください。仕掛が出ていかずに、ケガをするおそれがあります。
- 糸が勢いよく出ているときには、スプールの上に指を置かないように注意してください。ヤケドや指をはさんでケガをするおそれがあります。また、糸が勢いよく出ているときには、糸に触れないでください。糸で指を切るおそれがあります。
- スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る原因になるおそれがあります。

使用上のご注意

- 根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手にとって切るようにしてください。その際には、手袋かタオルで必ず手を保護してください。
- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、なるべく通風性のよい場所に保管してください。また、ドラグをいっぱい締めた状態でご使用している場合には、ドラグをゆるめて保管してください。
- 塩分を含んだ海水で、道糸が湿った状態のまま保管すると、スプールが腐蝕するおそれがあります。水道水を糸巻き部のみにあたるように、海水を洗い流してから、十分乾燥させて保管してください。
- 落下等で強いショックを与えると破損する場合がありますので、お取り扱いには十分ご注意ください。
- ワイヤーは道糸として使用しないでください。

各部名称



お手入れについて

- 使用後はリールの汚れやゴミ等をきれいに拭き取ってください。
- 溶剤(シンナー等)は使わないでください。●ギヤ一部等、リールを分解してのお手入れは、内部構造が複雑なため、おやめください。また、グリス・オイルの付けすぎは、逆に本来の性能を損なう可能性がございますので、ご注意ください。●水洗いをする際には、外観の汚れ・塩分を軽く落とす程度で、真水で洗い流してください。水のつけ洗いは絶対にしないでください。

《お手入れの順序》

- 使用後は、外観の汚れや塩分を軽く真水で洗い流し、よく水を切つて陰干ししてください。●水には絶対に浸けないでください。故障の原因になります。●ぬるま湯やお湯で洗わないでください。グリス等が流れ出る原因となります。●塩分を含んだ海水で、道糸が湿った状態のまま保管すると、スプールが腐蝕するおそれがあります。水道水を糸巻き部のみにあたるように、海水を洗い流してから、十分乾燥させて保管してください。●ドラグ部分には水が入らないようにしてください。

《メンテナンスについて》

- 錆や塩分の固着によるトラブルを防止するためにも、釣行後に必ずメンテナンスを行っていただくことが重要です。●ボールベアリングやギヤ等は消耗品であり、長時間のご使用により初期性能は低下する可能性がありますのでご了承ください。●注油の際は、軸受やハンドルノブ等に行ってください。注油は毎回必ず行う必要はございません。数回ごとに一度で十分です。

ドラグレバーの操作方法

●FREE/フリーゾーン(クラッチオフの状態)

レバーを一番手前にするスプールがフリー状態になります。
(プリセットドラグノブを締めすぎるとフリーにならないので、ご注意ください)
糸を出すときは、このフリーの位置でおこないます。このとき、スプールが回りすぎてバックラッシュする場合は、人差し指と親指でスプールをはさむ様にしてサミングしてください。

●FIGHT/ファイティングゾーン

通常の釣り始め時にはストライクポジションの位置にセットします。
フッキング後に魚とのやりとりはドラグレバーで行います。
レバーを手前に倒すとドラグが弱まり、前方に倒すとドラグが強くなります。通常のファイト時には、ファイティングゾーンの範囲内で調整します。

●MAX/ランディングゾーン

ドラグテンションが最大になる範囲です。通常のファイティング時には使用しません。

●ドラグテンションの設定について

プリセットドラグノブであらかじめドラグテンションをセットします。
(セットされた位置によりドラグレバーのテンションの強弱が変わります)
ファイティング時のドラグ調整はドラグレバーで操作してください。

※プリセットドラグノブ調整のご注意

ストライクポジションでプリセットドラグノブを回しますと、リールにダメージを与える可能性がありますので、プリセットドラグノブを操作される際は常にレバーをフリーの位置で操作してください。

